

変化の激しい経営環境のなか 収益改善に着実に取り組みます

株主の皆様には平素よりJFEグループの活動に対しまして、温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

初めに2016年度の決算の概要や今後のJFEグループの取り組みについて、ご説明いたします。

代表取締役社長 (CEO)

林田 英治

2016年度の業績概要

2016年度のわが国経済は、輸出や企業収益が持ち直すとともに、設備投資の増加や雇用環境の改善もあり、全体として緩やかな回復基調となりました。一方、海外経済は米国を中心に先進国で緩やかな回復がみられるものの、英国や米国の経済政策の変化や中国経済の下振れリスク等により、不透明感の強い状況が続いております。

国内外の鋼材需要は回復の兆しを見せているものの、アジアにおける鋼材の供給過剰の影響やエネルギー関連需要の低迷もあり、全面的な市況回復には

至っておりません。さらに原料炭を中心に原料価格が乱高下する等、変化の激しい事業環境が続いております。

このような状況のもと、鉄鋼事業では収益改善への継続的な取り組みや在庫評価益等の一過性の増益要因が大きく寄与し、経常利益は405億円と前期に比べ増益となりましたが、2015年秋以降の急激かつ大幅な原料炭価格の高騰の影響が大きく、実質的には前期を下回る業績となりました。

商社事業についても厳しい事業環境が続いたものの、自動車分野を中心とした堅調な鋼材需要を着実に捕捉するとともに、北米グループ会社や海外鋼材



JFE

JFE ホールディングス 株式会社

JFE Group

2016年
4月1日>>>
第15期

2017年
>>>3月31日

	2014年度	2015年度	2016年度
			(単位:億円)
売上高	38,503	34,317	33,089
経常利益	2,310	642	847
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,393	336	679
総資産	46,394	42,348	43,360
純資産	19,900	18,579	19,218

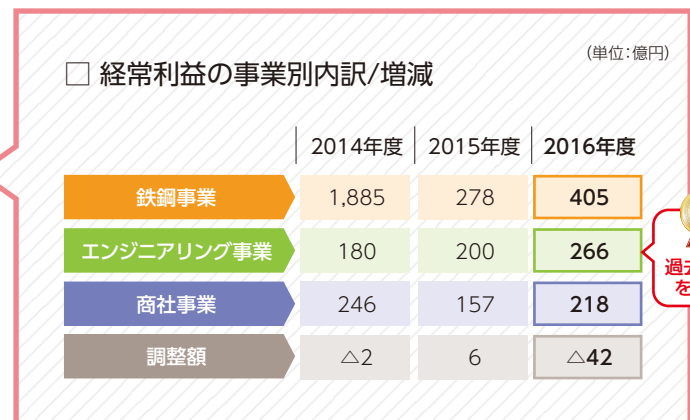
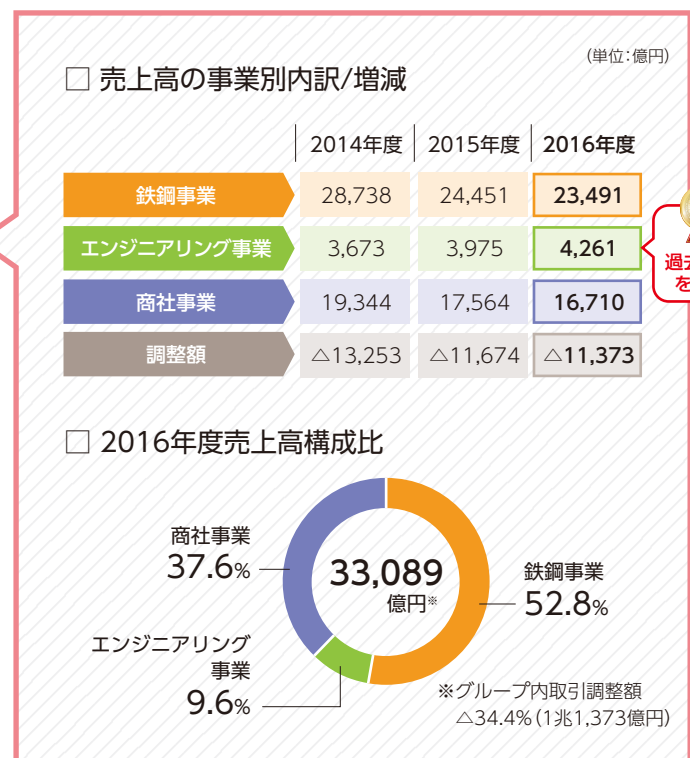
	2014年度	2015年度	2016年度
			(単位:%)
ROS ^{※1}	6.0	1.9	2.6
ROA ^{※2}	5.5	1.7	2.3
ROE ^{※3}	7.7	1.8	3.7
自己資本比率	41.8	42.6	43.0
D/Eレシオ ^{※4}	59.0	56.9	51.4

※1 ROS=経常利益/売上高

※2 ROA=(経常利益+支払利息)/総資産

※3 ROE=親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本

※4 D/Eレシオ=借入金・社債等残高/自己資本(格付評価上資本性を併せ持つ負債について、格付機関の評価により、資本に算入)





鉄鋼事業 JFEスチール株式会社

世界最高強度1470MPa級 冷延ハイテンを新開発・実用化

～環境負荷低減が評価され第13回エコプロダクツ大賞 経済産業大臣賞を受賞～

JFEスチール(株)は、1470MPa級の冷延ハイテンを新たに開発しました。これは、常温で加工する自動車部品用の鋼板としては世界最高強度で、既に自動車のバンパー等に実用化されています。

自動車に使用される鋼板は、衝突安全性の向上や車体軽量化のため、高強度化が求められています。一般的には合金を添加することで鋼板の強度を高めますが、合金を添加するほど加工が難しくなり、また加工後、鋼板がもろくなり割れが発生しやすいたことが課題でした。

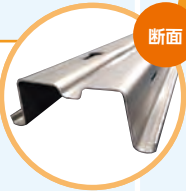
そこで、西日本製鉄所(福山地区)において、熱した



車体軽量化によるCO₂削減効果で環境貢献



開発した冷延ハイテンを使用したバンパーレインフォースメント



断面

エコプロダクツ大賞
経済産業大臣賞
受賞



ドアインパクトビーム

世界最高強度の部品の実用化

自動車の軽量化による燃費性能向上(CO₂削減)

鋼板を水で急速に冷やす独自の設備技術を用いて高強度化し、割れの原因となる合金の添加を極限まで減らしました。これにより、割れの発生を抑え、加工性に優れた世界最高強度の鋼板の開発を成功させました。高強度化により鋼板を薄くすることで、自動車骨格部品の鋼材使用量を約2割減らし、軽量化による燃費向上(CO₂削減効果)に大きく貢献することができます。

こうしたCO₂削減効果が評価され、第13回エコプロダクツ大賞の経済産業大臣賞を受賞しています。

同社では、今回実用化した部品だけでなく、高強度が求められる他の自動車部品への展開も目指しています。今後も商品開発を通じた環境負荷の低減に貢献していきます。



ハイテンって何のこと?

ハイテンとは:
合金を添加し、その成分や組織をミクロン単位で制御することで、一般の鋼材より強度を高めた高機能鋼材のこと。

世界的な競争が激化するなか、10年先を見据えた革新的な技術開発に取り組んでいるJFEスチール(株)スチール研究所。若手社員が、研究開発への想いを語ります。

person

ここに注目

シームレス鋼管(継目無鋼管)は、石油掘削や発電など私たちの生活に欠かせないエネルギー分野で主に使用され、高い品質が求められます。私は、より高機能なシームレス鋼管を、効率よく安定的に製造するためのプロセス開発を担当しています。研究開発では実験チームのメンバーと目的をしっかりと共有することを心がけ、同時に製造現場と議論しながら自由にアイデアを出し、製品を形にしていくプロセスに大きなやりがいを感じています。今後の研究を通じて、業界が驚くアプローチから新プロセスを開発し、世の中に役立つ商品を生み出していきたいと思っています。



JFEスチール(株)
スチール研究所
鋼管・鋳物研究部
佐々木 俊輔



エンジニアリング事業

JFEエンジニアリング株式会社

ラオスにて東西経済回廊の橋梁改修を受注



セツムカーム橋



セタムアック橋

完成予想CG ※提供: (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル

JFEエンジニアリング(株)は、(株)安藤・間との共同企業体を組成し、東西経済回廊の一部を構成するラオス国道9号線の2つの橋梁の架け替え工事を受注しました。今回、洪水時でも橋梁が流出しないよう橋桁の高さを低くすることが求められ、同社のオンリーワン商品であるリバーブリッジが採用されました。このプロジェクトは、日本政府によるODA(無償資金協力)として発注されたもので、ラオス国のみならずASEAN全体にとって重要な国際幹線道路の整備として位置付けられています。

東南アジアの 交通・物流網の 整備に貢献



東西経済回廊:
南シナ海に面するベトナムからラオス・タイを経由して、インド洋に面するミャンマーを結ぶ全長約1,450kmの国際幹線道路。



ラオスは伝統的な親日国です。その背景には、日本によるラオスへの継続的な支援があります。日本はダムや橋をはじめとする大型インフラの建設だけではなく、教育環境の整備や人材育成、保健医療サービスの改善など、様々な分野においてODAを展開してきました。(外務省ホームページより抜粋)



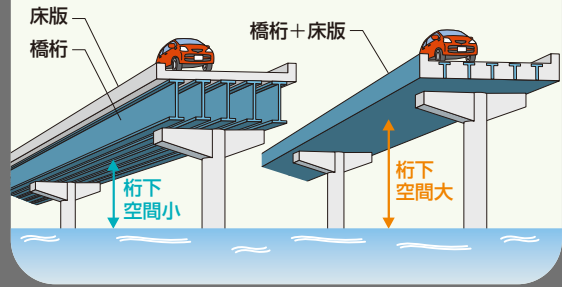
日本のODAにより建設された橋と両国の友好を示した記念碑



ラオス紙幣に描かれた日本のODAにより建設された橋

今回採用された「リバーブリッジ」をご紹介します。

- 一般的な橋梁
- リバーブリッジ
橋桁と床版が一体構造となっているため、桁高を約2分の1にできる。



- 橋長:
セツムカーム橋:90m
セタムアック橋:160m
- 鋼重:約1,000t
- 施工:安藤・間、JFEエンジ共同企業体
- 工期:
2016年12月~
2019年6月

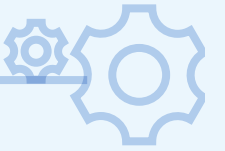
今回の現場は、雨季になると川の水位が高くなるため、橋桁の高さを約2分の1にできるリバーブリッジが最適でした。これは足場の設置も省略できるため、現地工期の短縮にもつながります。日本国内で450を超える実績を持つリバーブリッジを、海外へも積極的に提案していきます。

JFEエンジニアリング(株)
社会インフラ本部
海外事業部

工藤 勝

person **ここに注目**





商社事業

JFE商事株式会社

地域密着の営業活動で築いたお客様との信頼関係を通して震災復興に貢献。その経験を通じて成長するJFE商事グループの若手社員を紹介します。

ここに注目 *person*

私が東北支店に赴任したのは、入社3年目、震災が起きた年の7月でした。支店では地域に密着した営業が大切だと考え、日々現場に足を運ぶことでお客様との信頼関係を築くよう心がけました。その結果、次第にお客様のほうからご相談を頂けるようになりました。なかでも印象に残っている案件は、被災した小・中学校校舎の復旧案件でした。この案件では屋根材として耐久性の高い鋼板が求められており、JFE商事薄板建材(株)が販売に注力していた新商品の鋼板「JFE エコラミ®」が採用されました。この案件を通じて、東北の皆様の復興に少しでも貢献できたことへの喜びと、お客様の現場を知り信頼を得ることの大切さを学ぶことができました。現在の本社勤務においても東北での経験を活かし、お客様や現場の信頼を得るべく足繁く通い、営業する日々を送っています。今後もお客様との密接な関係を築くことで、ニーズを引き出し、多くのお



JFE鋼板(株)のJFE エコラミ®

紫外線に強く湿気を通しにくいフィルムと高強度のめっき鋼板を組み合わせた超耐久性屋根用鋼板



お客様の豊かな暮らしづくりに貢献していきたいと考えています。



橋 賢

プロフィール
2009年入社 JFE商事薄板建材(株) 東京第三営業部(当時) 配属
2011年7月 東北支店
2016年4月 東京第二営業部メッキ鋼板室(現・営業室)

ジャパン マリンユナイテッド 株式会社

大型フェリー1番船 「さんふらわあ ふらの」引渡し

本船は、茨城県大洗～北海道苫小牧航路に就航している「さんふらわあ ふらの」の後継船で、旅客590名、大型トラック約160台、乗用車約100台を同時に運ぶことができます。最適船型を開発するとともに、二重反転プロペラをはじめとしたジャパン マリンユナイテッド(株)の温室効果ガス削減技術を織り込み、優れた環境性能のフェリーを実現しました。

また、推進方式にエンジンとモータの2種類の駆動源を有すハイブリッド推進システムを採用することで、「燃費効率の良い運航」と「スムーズな出入港」という、大型フェリーに重要な性能の両立を図っています。

居住区画においても快適に過ごせるような工夫を施しており、「人にも環境にもやさしい」フェリーとして活躍しています。



● 全長 : 199.70m
● 型幅 : 27.20m
● 航海速度 : 24ノット
● 総トン数 : 約14,000トン

会社概要 / 株式の現況 (2017年3月31日現在)

名称 (商号)	JFE(ジェイ エフ イー) ホールディングス株式会社 [英文名称: JFE Holdings, Inc.]
本店所在地	〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 電話 03(3597)4321(代表)
設立	平成14年9月27日
資本金	1,471億円
発行可能株式総数	2,298,000,000株
発行済株式総数	614,438,399株
株主数	228,025名

株主メモ (2017年3月31日現在)

決算期	3月31日
定時株主総会	6月に開催
定時株主総会および 剰余金の配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告の方法	電子公告
【アドレス】	http://www.jfe-holdings.co.jp/

経営体制 (2017年6月23日現在)

◎取締役		◎監査役	
代表取締役社長	林田 英治	監査役(常勤)	津村昭太郎
代表取締役	柿木 厚司	監査役(常勤)	原 伸哉
代表取締役	岡田 伸一	監査役(社外)	伊丹 敬之
取締役	織田 直祐	監査役(社外)	大八木成男
取締役	大下 元	監査役(社外)	佐長 功
取締役(社外)	前田 正史		
取締役(社外)	吉田 政雄		
取締役(社外)	山本 正巳		
◎執行役員			
社長	林田 英治	CEO(最高経営責任者)	
副社長	岡田 伸一	CFO(最高財務責任者)	
		総務部、IR部、財務部の統括、企画部の担当	
専務	寺畑 雅史	総務部の担当	
常務	大木 哲夫	IR部、財務部の担当	

第15回定時株主総会決議ご通知

平成29年6月23日開催の当社第15回定時株主総会において、
下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 第15期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査
人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は上記それぞれの内容を報告いたしました。 | 2 | 第15期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
計算書類の内容報告の件
本件は上記内容を報告いたしました。 |
|---|---|---|---|

決議事項

〈会社提案〉

- | | |
|---|--------------------------------------|
| 第1号議案 剰余金の配当の件 | 第3号議案 監査役2名選任の件 |
| 本件は原案のとおり承認可決され、当期末の剰余金の配
当は1株につき30円に決定されました。 | 本件は原案のとおり、原伸哉、佐長功の両氏が新たに選
任されました。 |
| 第2号議案 取締役8名選任の件 | 第4号議案 当社株式の大規模な買付行為に関する対応方針継続の件 |
| 本件は原案のとおり、林田英治、柿木厚司、岡田伸一、
前田正史、吉田政雄の5氏が再選され、織田直祐、大下
元、山本正巳の3氏が新たに選任されました。 | 本件は原案のとおり、本方針を継続することに承認可
決されました。 |
| 〈株主提案(第5号議案)〉 社外取締役は無益なため廃止し、社外取締役吉田政雄氏を解任する件 | 以上 |
| 本件は否決されました。 | |

■ 期末配当金のお支払いについて

第15期期末配当金は、同封の「配当金領収証」により払渡期間(平成29年6月26日から平成29年7月31日)内にお近くのゆうちょ銀行あるいは郵便局でお受け取りください。また、口座振込をご指定の方および株式比例配分方式をご利用の方は「剰余金の配当(期末)計算書」等をご確認ください。

株式のお手続きに関するお知らせ

Q 単元未満株式の買増・買取制度
とは何ですか？

A 当社の株式は単元株式数(売買単位)を100株としているため、100株に満たない株式(単元未満株式)は市場では売買することはできません。そのため、単元に満たない株式を当社に対して買増請求(買い増して1単元(100株)にする)および買取請求(売却する)することができる制度のことです。**証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、下記のみずほ信託銀行株式会社証券代行部にご連絡ください。**

Q 特別口座から証券会社等の口座への
振替について教えてください

A 特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式の当社への買増・買取請求を除く)ので、証券会社に取引口座を開設して、開設された口座に株式を移し替える手続き(振替申請)をお勧めします。詳しくは、当社特別口座管理機関みずほ信託銀行株式会社にお問合せください。

●お問い合わせ先 **みずほ信託銀行株式会社 証券代行部** ☎ 0120-288-324 (平日9:00~17:00)

知ってる JFE?



JFE環境 食品リサイクル事業に参入

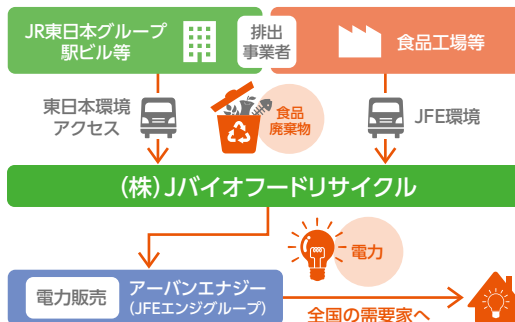
JFEグループでは、JR東日本グループと共同で、(株)Jバイオフードリサイクルを設立し、バイオガス発電による食品リサイクル事業を2018年8月から開始します。この事業では、JR東日本グループが運営する駅ビル・エキナカ等や食品製造会社等から排出された食品廃棄物を微生物により発酵し、発生したメタンガスを燃料にして発電を行います。これにより食品リサイクル率の向上と、再生可能エネルギーの創出が可能となり、CO₂の排出削減に貢献できます。

食品廃棄物
80t/日



- 発電出力: 1,800kW
- 年間想定発電量: 約1,100万kWh
(一般家庭約3,000世帯分の年間使用電力量に相当)
- 事業期間: 2018年8月～

■事業スキーム



なでしこ 銘柄認定



JFEホールディングス(株)が、平成28年度「なでしこ銘柄」に選定されました。「なでしこ銘柄」は、経済産業省と東京証券取引所が女性活躍推進に優れた上場企業を紹介するものです。今後も、女性をはじめ多様な人材がより活躍できる社会を実現するため、様々な取り組みを進めてまいります。

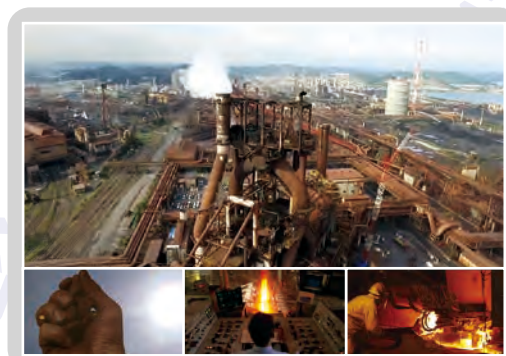


私は試験機械を使って、研究員と一緒に実験を行っています。自分の実験が研究成果につながり、新商品に反映されることにやりがいを感じています。女性ということで、周囲の方から働きやすいように配慮していただいているのですが、安全や技能に関しては性別関係なくしっかり鍛えてもらっています。私の目標は結婚・妊娠・出産を経てもっと同じように働き続けることです!今後も未来につながる実験に前向きに取り組んでいきます。

JFEスチール(株) スチール研究所
立花 望

JFEスチール会社紹介映像リニューアル

JFEスチール(株)の会社紹介映像をリニューアルしました。ドローンを用いた空撮などを駆使し、従来では表現できなかった迫力ある映像と音楽、印象的な字幕で、鉄の誕生～再生を表現したストーリー性のある内容となっています。ホームページでの映像掲載に加えて、YouTubeの「JFEスチール公式チャンネル」でも映像を公開していますので、ぜひご覧ください。



JFEスチール会社紹介映像

検索



YouTubeはこちら

<https://m.youtube.com/watch?v=cVW5iarvO7Ez>

JFE ホールディングス 株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号

ホームページアドレス <http://www.jfe-holdings.co.jp/>